

令和7年度 埼玉県学力・学習状況調査結果の概要

教科に関する調査

[] 内は、県平均値を100としたときの本市の状況
〔太字〕は、前年度より県との差が縮まったもの (単位%)

調査の概要

- 調査の目的
本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。
- 実施日 中学校：令和7年5月7日（水）～9日（金）
小学校：令和7年5月13日（火）～15日（木）
- 調査の対象 [児童生徒数]
・小学校 第4学年～第6学年 1775[名]
・中学校 第1学年～第3学年 1816[名]
- 調査事項
(1)児童生徒に対する調査
○教科に関する調査
小学校第4学年から中学校第1学年まで [国語、算数・数学]
中学校第2学年及び第3学年 [国語、数学、英語]
○質問紙調査
学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項
(2)学校に対する調査

教科に関する調査の平均正答率

	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	53.5 〔101.9〕	64.0 〔101.9〕	59.7 〔100.6〕	58.7 〔93.9〕	53.0 〔97.0〕	51.9 〔91.0〕
算数 数学	66.0 〔99.7〕	49.3 〔102.0〕	52.5 〔100.1〕	50.1 〔96.3〕	49.2 〔95.5〕	51.9 〔91.5〕
英語					57.0 〔94.6〕	45.7 〔88.7〕

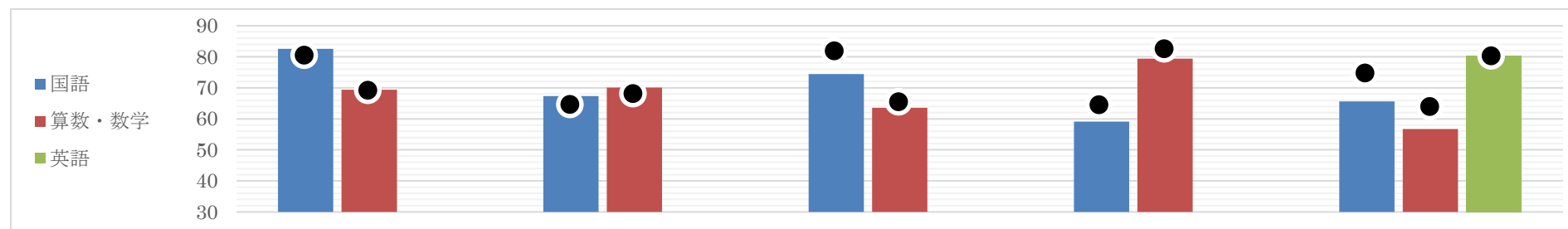
(1)平均正答率より

- ◇小5・小6で、全ての教科で県平均を上回っている。
- ◇小6は国語では県平均を上回り、算数は県平均を下回ったが県と同程度である。
- ◇中1・中2・中3は、県平均を下回った。

(2)「学力の伸び」より

- ◇小4から小6にかけては県平均と同等か上回る学力の伸びが見られた。中1から中3においては3教科とも伸びは県平均を下回った。全体として中位層に分布している児童生徒が、学年が上がるにつれて伸び悩んでいる様子が見られる。

■前年度から学力が伸びた児童生徒の割合■ (単位%) ● は、県の状況



	小5	小6	中1	中2	中3
国語 本庄市 (県)	82.6 (80.4)	67.3 (66.3)	74.4 (83.1)	59.1 (64.5)	65.6 (74.5)
算数・数学 本庄市 (県)	69.4 (69.6)	70.1 (68.3)	63.6 (66.5)	79.4 (84.6)	56.7 (63.8)
英語 本庄市 (県)					80.4 (81.8)

質問紙調査

■「規律ある態度」 ■ ※質問事項は、教育に関する3つの達成目標の内容を抜粋
※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 登校時刻	91.8 (93.3)	92.8 (93.9)	93.0 (94.4)	96.3 (97.7)	96.1 (96.6)	96.7 (96.1)
2 授業開始時刻	88.8 (88.4)	88.5 (91.2)	96.4 (95.4)	94.9 (96.6)	98.6 (97.4)	97.8 (97.7)
3 靴そろえ	74.2 (77.8)	83.5 (80.7)	87.4 (88.7)	90.6 (89.6)	94.5 (91.6)	93.5 (93.1)
4 整理整頓	83.0 (81.4)	83.6 (78.1)	83.2 (80.2)	76.1 (72.6)	79.6 (74.8)	82.9 (74.9)
5 あいさつ	79.9 (81.5)	82.5 (82.0)	88.6 (84.5)	84.8 (88.1)	86.6 (88.1)	86.5 (87.5)
6 返事	86.5 (88.5)	89.0 (91.1)	94.5 (93.6)	94.0 (94.8)	94.5 (94.9)	95.0 (95.3)
7 ていねいな言葉づかい	88.5 (88.7)	89.4 (90.3)	95.3 (92.9)	91.7 (91.7)	96.8 (92.8)	96.6 (93.9)
8 優しい言葉づかい	82.6 (85.5)	86.9 (87.0)	94.1 (89.4)	91.0 (89.5)	94.5 (90.9)	94.5 (90.8)
9 学習準備	82.8 (82.4)	85.5 (85.9)	92.1 (89.7)	91.1 (92.8)	93.1 (93.6)	94.5 (94.3)
10 話を聞き発表する	81.4 (83.7)	81.2 (83.2)	83.2 (83.7)	76.6 (83.4)	84.3 (83.3)	84.6 (85.4)
11 集団での態度	80.1 (82.9)	83.1 (84.6)	89.8 (87.8)	91.8 (92.0)	95.4 (93.1)	95.7 (94.8)
12 掃除美化活動	86.3 (87.7)	87.9 (87.3)	91.4 (88.9)	88.5 (87.7)	94.2 (88.0)	93.2 (89.2)

()内は、県平均値 は、県・市の目標値(80%)を達成した項目

■「学校生活等に関する内容」 ■ ※「よくできる」「だいたいできる」を合わせた値(単位%)

質問事項	小学校			中学校		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
1 自分には、よいところがあると思う	81.2 (80.7)	81.6 (79.1)	84.3 (77.2)	80.5 (79.3)	80.3 (77.8)	89.0 (80.2)
2 先生は自分のよいところを認めてくれている	94.7 (94.2)	94.8 (95.9)	97.3 (94.8)	94.1 (93.2)	97.9 (96.3)	97.6 (95.8)
3 先生たちは自分の悩みの相談にのってくれる	85.6 (87.2)	91.3 (90.0)	93.9 (90.7)	95.7 (95.6)	95.6 (94.0)	96.7 (93.2)
4 友達は自分のよいところを認めてくれている	83.5 (85.3)	91.6 (90.0)	95.9 (92.4)	92.4 (92.1)	95.4 (94.3)	98.1 (94.6)
5 将来の夢や目標を持っている	90.5 (90.6)	86.4 (88.5)	88.0 (83.9)	81.6 (83.2)	72.5 (72.6)	75.5 (70.3)
6 前学年の学級での生活は楽しかった	95.2 (94.4)	93.5 (92.8)	95.3 (92.3)	93.8 (93.1)	96.8 (94.0)	94.7 (92.8)
7 前の学年での学級は、落ち着いて学習する雰囲気があった。	74.6 (79.3)	75.8 (75.2)	80.5 (74.8)	73.0 (72.6)	80.1 (70.3)	79.5 (76.6)
8 住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心がある	71.5 (73.5)	71.7 (70.5)	73.2 (66.5)	59.2 (57.5)	56.9 (47.4)	47.9 (41.3)
9 失敗を恐れなくて挑戦する	77.9 (78.6)	79.7 (77.0)	83.0 (77.4)	72.3 (72.5)	73.1 (68.9)	74.0 (67.0)

()内は、県平均値 は、県平均値より高い項目

本庄市の子供の「学力」と「学習意欲等」について ～埼玉県学力・学習状況調査の結果の概要～

教科に関する調査結果から

各教科に関する調査の平均正答率は、全14調査のうち5調査で県平均を上回った。学力の伸びは全11調査のうち3調査で県平均を上回った。中学校での学習内容の定着に課題が見られる。

◇：よい傾向 ◆：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

— 共 通 —

■全教科において要となる「読むこと」の力の育成が課題である。

⇒毎単元の言語活動（読解を通して得た情報や、感じたり考えたりしたことを使って表現する機会）を適切に計画し、確実に実施していく。

☆

学

力

☆

【小学校】

◇平均正答率が小4国語、小5国語・算数、小6国語・算数で上回っている

◆国語の「話すこと・聞くこと、書くこと」「読むこと」の平均正答率が3つの学年のうち2学年で県平均を下回っている。

◇算数の項目別では、学年によって違いはあるが、いずれの項目も県平均と近い値となっている。

⇒国語では、内容を整理して読み取る活動及び、その後の表現活動を充実させる。

⇒算数では、本庄型授業スタンダードを基に、習熟の時間を確保し、知識・技能を高めつつ、思考力・判断力・表現力を高めていく。

【中学校】

◇英語の学力を伸ばした生徒の割合が県平均と同程度である。

◆3学年ともに項目別では、全ての教科のほとんどの項目で平均正答率が県平均を下回っている。

⇒本庄型授業スタンダードを基に、学習内容を明確にした授業や、適切な評価を確実に実施し、学習内容の確実な定着を図る。特に、生徒の学習活動を充実させ、思考・判断・表現する機会を充実させる。

児童生徒に対する質問紙調査結果から

「規律ある態度」に関するほとんどの項目が、各学年において目標値を達成している。「学校生活等に関する内容」でも、多くの項目で県平均を上回っていて、本市の児童生徒は充実した学校生活を送っていると考えられる。

□：よい傾向 ■：改善の必要有り ⇒：改善策の一例

【規律ある態度】

— 小学校 —

□36項目中34項目が、県・市の目標値80%を達成している。

■第4学年において、「靴そろえ」「あいさつ」に関する項目で目標値を下回っている。
⇒学級や学年、学校全体で靴そろえ及びあいさつ運動などに取り組み、意識化したり習慣づけたりしていくとともに、家庭とも連携協力をしていく。

— 中学校 —

□36項目中33項目が、県・市の目標値80%を達成している。

■「整理整頓」に関する項目が、2つの学年以上で目標値を下回っている。
⇒学級や学年、学校全体で靴そろえ及びあいさつ運動などに取り組み、意識化したり習慣づけたりしていくとともに、家庭とも連携協力をしていく。

■第1学年において、「話を聞き発表する」に関する項目で目標値を下回っている。

⇒授業だけでなく、学校生活の様々な場面で表現及び発表する機会を増やす。

【学校生活等に関する内容】

— 共 通 —

□県平均に達していない項目もあるが、県平均とはほぼ同等程度の結果である。

— 小学校 —

□「自分には、よいところがあると思う」「前学年の学級での生活は楽しかった」に関する項目は、いずれの学年も県平均を上回った。

— 中学校 —

□「先生は自分のよいところを認めてくれている」「友達は自分のよいところを認めてくれている」に関する項目では、いずれの学年も県平均を上回り、90%以上である。

☆

学

意

欲

等

改善に向けた教育委員会の取組

○学力学習状況調査の分析を行い、自校における各学年の学力についての実態を把握する。学力向上推進委員と協力し、PDCAサイクルを活用した各学校の取組を学校全体で組織的に行う。

○調査結果や分析結果を基に、学力を伸ばした効果的な取組を見いだして市内に広めるとともに、指導主事の学校訪問により学力向上の取組を充実させる。

○小中学校における授業交流や授業研究会などを計画的に実施し、本庄型授業スタンダードを中心とした授業改善を行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。